

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	幼児教育充実事業	シート番号	038-041
担当部署名	教育委員会事務 局	教育センター・学校教育 部	能力開発・学校指導 課
		評価責任者(課長名)	渡邊・後藤

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	学ぶ力・生きる力の育成	有
	2	事業開始年度	平成 10 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	教育基本法 学校教育法			
	4	関連計画	堺市教育大綱、第2期未来をつくる堺教育プラン、幼児教育基本方針			
5	事業実施の経緯	市立幼稚園における教育活動を円滑に行うとともに市全体の幼児教育の振興を図る。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (教育センター) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()					
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市立幼稚園及び堺市の就学前教育・保育施設に在籍する幼児					
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	・公民園種を超えた市全体の幼児教育の質の向上及び小学校教育との円滑な接続 ・市立幼稚園における保育の質の確保					
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・就学前5歳児が小学校で交流活動等を行う「ワクワクひろば」の実施 ・幼児教育の質の向上や幼小の円滑な接続のための研修会等実施 ・市立幼稚園の障害のある幼児等に適切な支援を行うための専門家派遣及び、園運営に係る支援 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					
10	直接実施以外の主な支出先	堺市私立幼稚園連合会						

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	51,518	35,091	57,683	34,032	8,737	8,192	11,142	
	主な事業費内訳	園運営・保育支援(賃金等)	千円	37,478	27,896	44,170	27,192	5,820	5,491	7,550
		研修の実施・支援等	千円	2,648	2,555	2,648	2,454	2,358	2,190	2,697
		交流事業保険料	千円	270	178	270	177	270	178	200
		旅費(調査研究等)	千円	84	155	84	562	189	112	154
		国・府支出金	千円	5,772	4,893	5,509	4,461	114	74	441
	財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
		その他(子ども教育ゆめ基金)	千円		178					
		一般財源	千円	45,746	30,020	52,174	29,571	8,623	8,118	10,701
	12	人件費 (b)	千円	1,640	1,640	11,480	11,480	11,340	11,340	11,540
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	53,158	36,731	69,163	45,512	20,077	19,532	22,682	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	幼児教育充実事業	シート番号	038-041
-------	----------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14]令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	<p>・市内の幼児教育・保育施設と小学校を対象に保幼小合同研修を年2回実施。近隣の校区ごとにグループ交流、特別支援教育についての講演、個別情報交換会等を実施し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、小学校教育と幼児教育との内容面での理解が進み、小学校と各施設とで、担当者どうしの顔が分かるような交流を始めることができた。</p> <p>・幼児教育アドバイザーと指導主事による民間園への園内研修支援を、21回実施。</p> <p>・市立幼稚園に対し、早期支援員を派遣し(年間16回)発達障害等により配慮を要する幼児の支援について指導助言するとともに、幼児に望ましい教育環境を提供することができた。</p> <p>・就学前5歳児が小学校で交流活動等を行う「ワクワクひろば」を2回以上実施した学校は、コロナ禍の影響もあり、92校中、71校にとどまった。事業自体は定着しており、小学生にとっては、学習したことを活かし、上級生として自覚を促す機会になり、5歳児にとっては、入学に対しての不安を緩和し、交流することで小学校生活に触れる貴重な機会となっている。</p>						
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		幼児教育研修会の延べ参加人数	人	目標値	-	-	370	390
				実績値	103	335	470	
				達成率	-	-	127%	
				評価	-	-	大変良い	
		算出方法・設定根拠など		7割以上の参加率を目標とする(262学校園を対象に年2回実施)			※令和元年度から事務移管により指標を新たに設定	
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		ワクワクひろばの実施回数	回	目標値	-	-	250	92
				実績値	210	226	187	
				達成率	-	-	75%	
				評価	-	-	少し悪い	
		算出方法・設定根拠など		・全小学校(92校)が年間2回以上実施かつ前年度からの増を目標とする ※令和元年度から事務移管により指標を新たに設定				
				・令和2年度の目標は、新型コロナウイルス感染防止対策により実施回数の減少が見込まれることから設定				

事業の効率性

区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	幼児教育研修会の延べ参加人数	人	103	335	470
	②	上記①にかかる年間経費	千円	941	2,698	2,954
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	9,136	8,054	6,285
備考(算出についての説明等)						
区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
18	①	ワクワクひろばの参加者数	人	10,888	11,538	9,267
	②	上記①にかかる年間経費	千円	588	588	588
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	54	51	64
備考(算出についての説明等)						

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)
	<p>・円滑な幼小接続のために、幼児教育施設と小学校が個別に情報交換する必要があるというニーズに応じた場を設定する機会を設けたことや、申込状況を踏まえ、再度各施設へ呼びかけるなど、きめ細かく対応することで、参加者数の大幅な増加につなげることができた。</p> <p>・ワクワクひろば事業は円滑な幼小接続の取組として定着しており、年度当初は、全ての学校が年間2回以上で計画している。しかし、令和元年度の後半は、コロナ禍の中、予定していた交流が中止になった学校が多かったため、実施回数の減少となった。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	幼児教育充実事業	シート番号	038-041
-------	----------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 財政運営が厳しくなろうとも、要配慮児への支援を含め、幼児教育の質の向上や円滑な幼小接続についての取組は必須であるため。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 財政運営が厳しくなろうとも、要配慮児への支援を含め、幼児教育の質の向上や円滑な幼小接続についての取組は必須であるため。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 コロナ禍においても、要配慮児への支援を含め、幼児教育の質の向上や円滑な幼小接続についての取組は必須であるため。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 ・研修方法の変更や中止を再検討する。 ・ワクワクひろば事業において、実施方法と回数の変更を指示
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 ・一部研修は動画配信で実施を検討
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 ・コロナ禍であっても、質の高い幼児教育・保育を保障し、小学校教育との円滑な接続を図っていくことが求められている。		